

PEAKS

Leaders' Forum on  
Promoting the Evolution of Academia for Knowledge Society

# PEAKS活動報告

## 大学支援フォーラムPEAKS 令和5年度全体会合

2024年3月1日（金）

※本資料の内容の一部および全てについて、無断での複製・転載等などの二次利用を固く禁じます。

# (参考) 令和5年度PEAKS 全体会合 プログラム (予定)

時間	タイトル	
1 13:00-13:10	10分 開会挨拶	
2 13:10-13:40	30分 PEAKS活動報告 今年度のPEAKS活動の報告とノウハウ集の説明	PEAKS事務局
3 13:40-14:40	60分 第2期実証事業の報告と質疑応答	
13:40-14:00	20分 北海道大学： 発表15分＋質疑応答5分	北海道大学 山口理事・副学長
14:00-14:20	20分 広島大学： 発表15分＋質疑応答5分	広島大学 金子理事・副学長 津賀理事・副学長
14:20-14:40	20分 新潟大学： 発表15分＋質疑応答5分	新潟大学 川端理事・副学長
4 14:40-15:00	20分 休憩	
5 15:00-15:45	45分 日本型大学成長モデルアドバイザーWGの報告： 安西主査による内容紹介20分＋質疑応答・議論25分	安西主査
6 15:45-16:05	20分 休憩	
7 16:05-16:50	45分 産学人材流動WGの報告： 佐藤主査による内容紹介20分＋質疑応答・議論25分	佐藤主査
8 16:50-17:00	10分 閉会挨拶	

# Agenda

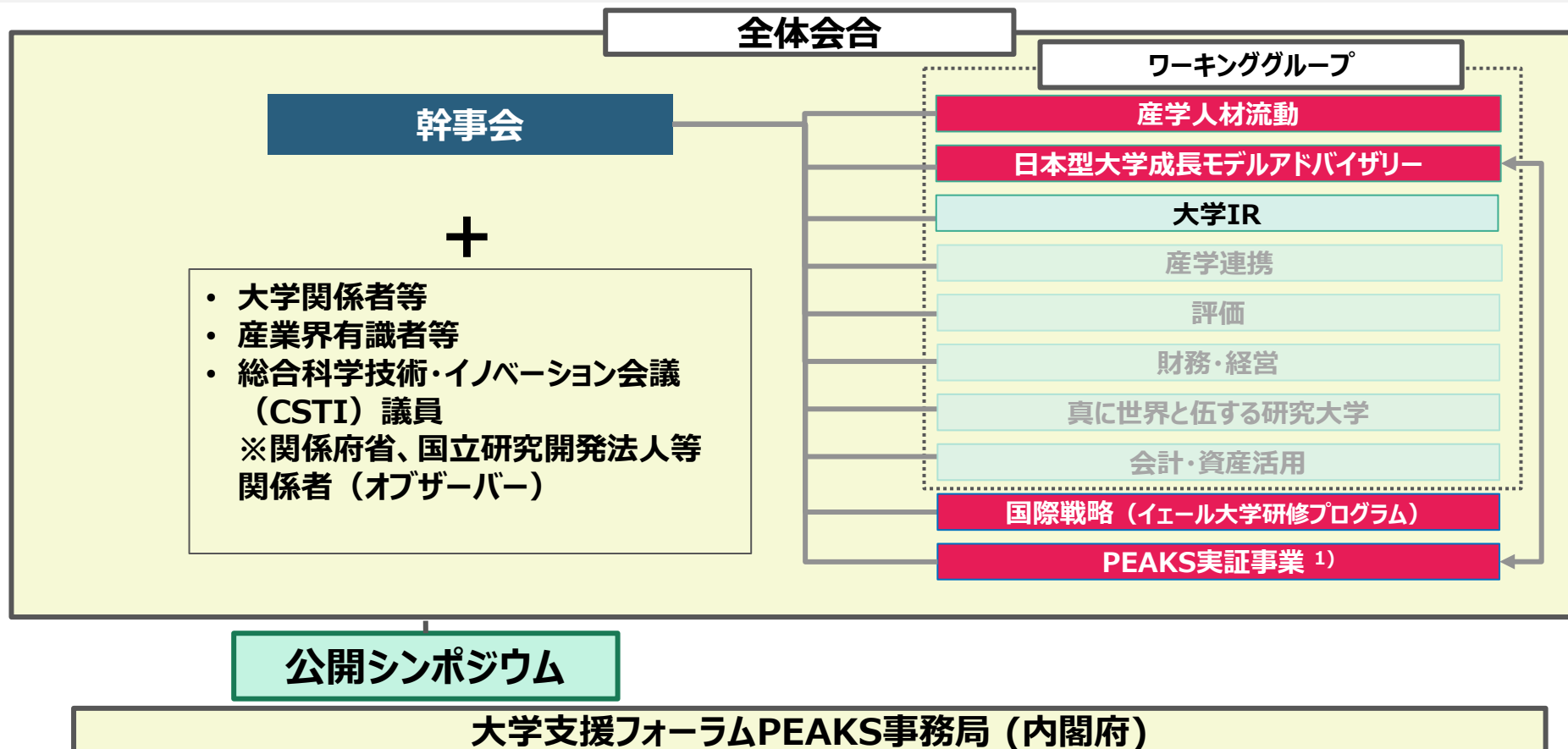
1. 今年度の大学支援フォーラムPEAKSの活動
2. イェール大学プログラム
3. 第2期PEAKS実証事業
4. 日本型大学成長モデルアドバイザーWG
5. 産学人材流動WG

# 大学支援フォーラムPEAKS：活動の全体像

「統合イノベーション戦略（平成30年6月15日閣議決定）」を踏まえ、下記の目的達成に向け、産業界、大学等、政府関係者から成る「**大学支援フォーラムPEAKS\***」を令和元年度に創設（内閣府の委託事業として実施）。

- イノベーション創出につながる**好事例を産学関係者で共有**し、産学ともに横展開を進めていく。
- 改革を進めるために現場が必要とする**規制緩和等の政策を関係府省に提案**し、制度改革につなげる。
- 次世代の研究大学の**経営層を育成**する。

\* Leaders' Forum on Promoting the Evolution of Academia for Knowledge Society



Note: 1) 日本型大学成長モデルの具体化及びそれを支える大学経営人材の確保・育成に係る実証事業

# PEAKS座長のご紹介



## 佐藤康博

大学支援フォーラムPEAKS 座長

- 産学人材流動WG 主査 を兼任

### <現職>

- 株式会社みずほフィナンシャルグループ特別顧問
- (一社) 日本経済団体連合会副会長
- 総合科学技術・イノベーション会議 議員 (非常勤)
- 東京大学経営協議会 委員

# Agenda

1. 今年度の大学支援フォーラムPEAKSの活動
2. イェール大学プログラム
3. 第2期PEAKS実証事業
4. 日本型大学成長モデルアドバイザーWG
5. 産学人材流動WG

# 研究大学の次世代経営層を育成する イェール大学研修プログラム

国内外の**大学経営に対する理解**を深め、**産学官の人材ネットワーク**を形成することを目的として、イェール大学と共同で開発したオリジナルプログラムを実施予定。  
イェール大学経営陣・教職員との**ディスカッション**を通じて経営とその理念を学ぶ。

## 国内事前研修

日時 2023年10月14日（土）10:00～18:00（対面形式）  
概要 日本、米国の高等教育における最新動向の理解を深め、講義・議論を通じたネットワークを構築

## イェールプログラム

日程 2023年10月27日～11月17日の期間にて実施  
概要 オンラインでのオンデマンド/ライブ講義と議論を実施。（下表参照）

## 最終振り返り研修

日程 2023年12月2日（土）13:00～18:00（対面形式）  
概要 ライブディスカッションを踏まえ、受講者からの個人発表及び上山CSTI議員との意見交換を実施

	コンテンツ	登壇者
1	米国の研究大学の組織とガバナンス	Steven Wilkinson (Vice Provost for Global Strategy)
2	卒業生との関係構築と関係強化	Stephen Blum (Senior Director, Strategic Initiatives, Yale Alumni Association)
3	大学経営におけるデータ利活用	Chad Losee (Head of Strategy, Office of the Provost)
4	戦略的な財務戦略	Stephen Murphy (Vice President for Finance and Chief Financial Officer )
5	大学ガバナンスの最適化	Linda Lorimer (Vice President of Strategic & Global Strategy (retired) )
6	イェール大学のアカデミック・プライオリティ	Peter Salovey (President, Yale University)

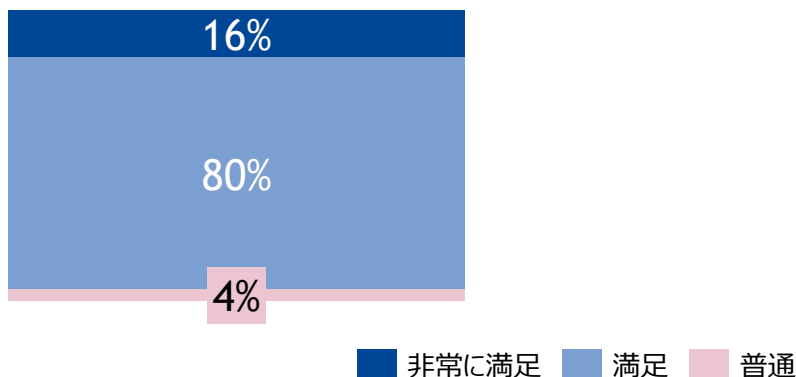
	コンテンツ	登壇者
7	大学教員のマネジメント	Tamar Gendler (Dean, Faculty Arts and Sciences)
8	産学連携の在り方	Kathy Lynch (University Executive Director, Corporate Strategy & Engagement, Yale Ventures)
9	イェール大学のリベラルアーツ教育	Pericles Lewis (Dean of Yale College)
10	大学と政府の関係	Richard Jacob (Associate Vice President for Federal and State Relations )
11	イノベーションを促進し支援する大学の戦略	Josh Geballe (Senior Associate Provost for Entrepreneurship & Innovation; Managing Director Yale Ventures)
12	最終振り返り研修	

2023年度は、**国公私大教職員20名、産業界1名、省庁4名**が参加。

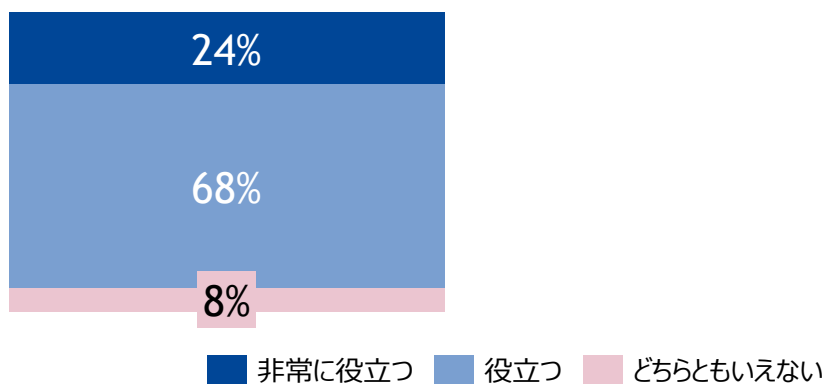
# イェール大学研修プログラム:参加者の声

## プログラム全体の満足度・有用度

Q.イェール大学プログラム全体の満足度はどうだったか



Q.プログラム全体の学びは業務・組織改革に役立てられそうか



## 参加者の声

- “ これまでほぼ一研究者として大学に勤務していたので、**大学経営について多くを学べたことがとてもよかった**。また、より広い視点で大学を見る必要があることを認識できた
- “ **海外大学の取組みや価値基準を参考に、今後所属組織における改革に取り組んでいきたい**
- “ **資金配分の決定方法や評価基準の多様性の導入などは、特に有益な情報だった**
- “ **将来の大学トップを担う方々とコミュニケーションが取れたため、非常に有意義だった**
- “ **通常ではお話することができないような他大学の執行部の先生方、文科省関係者、企業の方とつながることができ、大変な貴重な経験をさせて頂いた**

2024年1月15日には、イェール大学のピーター・サロヴェイ学長が内閣府を訪問され、過去のイェール大学研修プログラムの参加者のうち希望者10名によるReunionを開催した



# Agenda

1. 今年度の大学支援フォーラムPEAKSの活動
2. イェール大学プログラム
3. 第2期PEAKS実証事業
4. 日本型大学成長モデルアドバイザーWG
5. 産学人材流動WG

# 第2期PEAKS実証事業：背景と目的

## 背景

政府では、「地域中核・特色ある研究大学」が、自らの“特色ある強み”を十分に発揮し、社会変革を牽引する取組を強力に支援している。

地域中核・特色ある研究大学においては、大学が自身の強みや特色を伸ばす戦略的経営を展開することで、ポテンシャルを抜本的に強化するとともに、大学が拡張されたポテンシャルを社会との協働により最大限に発揮し、主体的に社会貢献に取り組むことで、社会を変革することが期待されている。

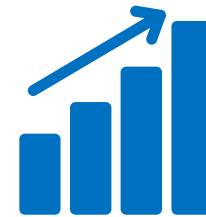
好事例も増加傾向にあるものの、それらの取組を一層促進することが重要であるとともに、大学が有する知的アセットの価値付け・収益化に向けた全学的な経営戦略を構築・実行し、自治体や企業といった大学外部との戦略的連携を推進するための具体的な方法論が求められている。



## 目的

第2期PEAKS実証事業では、地域中核・特色ある研究大学を目指す大学において、全学戦略の構築について、大学に伴走支援を行うと共に、横展開可能なノウハウを抽出し、普及を図り、大学経営の高度化を目指す。

<第2期PEAKS実証事業で主に扱った全学戦略の観点>



**A** 持続的成長に向けた『知』のアセットの収益化のための全学成長戦略



**B** 自治体・企業との深い連携を実現する全学アライアンス戦略

# 第2期PEAKS実証事業 実証大学/実証テーマ（五十音順）

大学名

実証テーマ

北海道大学



半導体政策に対する大学のあるべき姿のグランドデザイン  
－ 本学がとるべき半導体人材育成に関する戦略－

広島大学



地域中核大学における新たな経営資源獲得スキーム構築に資する実証事業  
－ Town & Gown構想との連動による「知のアセット」経営資源化の加速－

新潟大学



エキスパート人材の拡大・組織化による中核拠点研究大学の機能強化  
(University Administrator制度)

# Agenda

1. 今年度の大学支援フォーラムPEAKSの活動
2. イェール大学プログラム
3. 第2期PEAKS実証事業
4. 日本型大学成長モデルアドバイザーWG
5. 産学人材流動WG

# 日本型大学成長モデルアドバイザーWGの活動の全体像

## 【WG設置趣旨】

- 大学が自らの持つ「知」を適切に価値づけ、新しい資金の流れを生み出し、次代の「知」の創出の基盤に再投資する経営モデルへの転換が求められていることを踏まえ、「**日本型大学成長モデルの構築**」を目指す。
- また、大学の中長期的な成長に向け、**大学内外の叡智を結集したガバナンス・マネジメント**の必要性が指摘されている一方で、我が国では「大学経営人材」の確保・育成が課題となっていることから、その確保・育成方法の検討を行う。

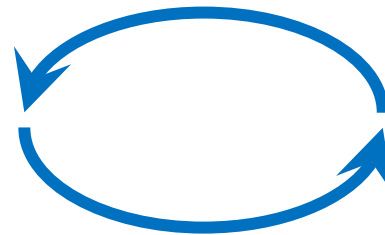
## WGの活動内容

### ① 日本型大学成長モデル / 大学経営人材の確保育成に関する議論の実施

- PEAKS実証事業の状況・課題・成果を踏まえ、大学成長モデル / 大学経営人材の確保・育成に係る議論を実施
- WG委員に加え、産業界・学术界・行政の関係者が一堂に会した、大学経営のあるべき姿や課題に関する議論を実施 等



実証の状況を踏まえ  
一部委員に随時委嘱



実証を  
踏まえた議論

### ② PEAKS実証事業の参加大学への伴走・助言

- 伴走支援の実施
- 必要な場面での助言 等



# 日本型大学成長モデルアドバイザーWGの委員 (五十音順)

	ご氏名	ご所属
主査	安西 智宏	株式会社ファストラックイニシアティブ 代表パートナー
	青柳 光昌	一般財団法人 社会変革推進財団 (SIIF) 専務理事
	伊佐山 元	株式会社WiL 共同創業者CEO
	小泉 泰洋	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 経営企画部 担当部長
	小林 賢治	シニフィアン株式会社 共同代表
	鮫島 昌弘	ANRI株式会社 ジェネラルパートナー
	重松 路威	ニューラルポケット株式会社 代表取締役社長
	陶山 祐司	株式会社Zebras and Company 共同創業者
	名倉 勝	CIC Institute Director
	原田 謙治	株式会社メディカル・インキュベータ・ジャパン 執行役員
	三好 今日子	株式会社ボナック 元CFO
	渡邊 拓	HERO Impact Capital Founder & General Partner

# Agenda

1. 今年度の大学支援フォーラムPEAKSの活動
2. イェール大学プログラム
3. 第2期PEAKS実証事業
4. 日本型大学成長モデルアドバイザーWG
5. 産学人材流動WG

# 産学人材流動WGの設置について

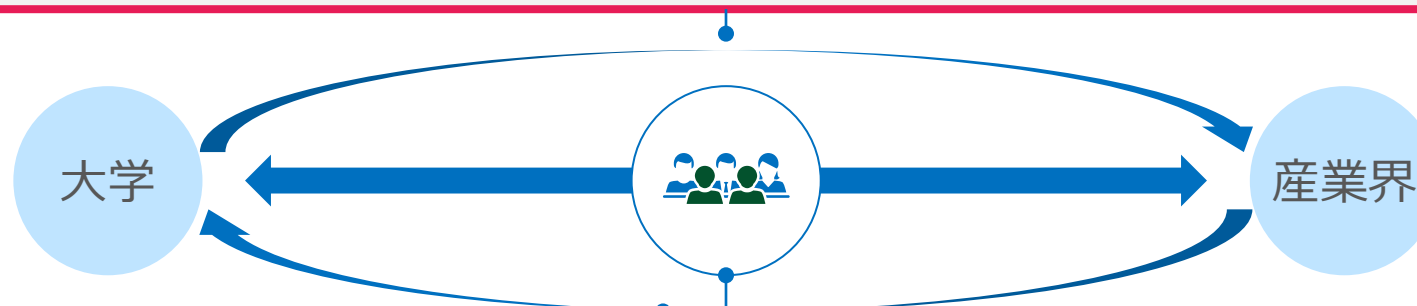
## 【WG設置趣旨】

- 我が国が今後も継続的にイノベーションを創出していくためには、社会課題の解決や価値創造を先導する資質・能力を持った多様な人材が、産業界と大学を行き来し、活躍することが不可欠である。そのためには、特に、高度な専門知識と課題解決力を有する博士人材の産業界における活躍の場を広げるとともに、産業界の人材が大学経営に関与するための具体的方策の検討が必要である。
- 現状では、産業界が博士人材を十分に活用できていない、産業界が求める人材が大学で十分に育成されていない、といった課題が見られ、産学双方において、互いのニーズに対する理解が十分とは言えない状況である。
- そこで、産学双方の有識者を招いて率直なご意見をいただきつつ、下記3つの論点を中心に議論を行い、相互理解を深め、「産業界と大学の間における人材流動性の強化」に向けた、各企業や大学での具体的なアクションに繋がる方策を検討する。

## 論点① 博士号取得者等が産業界で活躍することを促進するためにはどうすればよいか？

- 産業界がどのようなロールモデルを用意することで、学生の博士課程への進学を促進することができるのか？

メイン論点として  
議論中



## 論点② 産業界として、大学にどのようなことを求めるのか？

- スタートアップの共同創出
- リカレント教育の在り方
- 修士・博士課程における教育の在り方 等

## 論点③ 大学経営の深化に向けて、産業界からどのような人材が大学の経営に関与することが必要か？

- 例1: 執行部(CFO等)として大学経営をリードするパターン
- 例2: 大学職員として経営の基盤を支えるパターン



# 産学人材流動WGの委員（五十音順）

ご氏名	ご所属/経歴
遠藤 信博	日本電気株式会社 特別顧問
小路 明善	アサヒグループホールディングス株式会社 取締役会長 兼 取締役会議長
田中 愛治	学校法人早稲田大学 総長
千葉 一裕	国立大学法人東京農工大学 学長
永野 毅	東京海上ホールディングス株式会社 取締役会長
東原 敏昭	株式会社日立製作所 取締役会長 代表執行役
寶金 清博	国立大学法人北海道大学 総長
湊 長博	国立大学法人京都大学 総長
渡邊 光一郎	第一生命保険株式会社 特別顧問
主査 佐藤 康博	株式会社みずほフィナンシャルグループ 特別顧問
オブザーバー 長谷川 知子	一般社団法人日本経済団体連合会 常務理事